

LTE・WiMAXや LTE対応 パワーアンプ投入

ディー・クルー・テクノロジーズ（石川明彦CEO）は10月から、WiMAX、LTEなどの多様な周波数帯域に対応できる「バンド切の替え機能」を搭載したパワーアンプ（PA）「DC1302B」のサンプル提供を開始する。

新製品はLTEに主に使用される700メガヘルツ（MHz）帯と1.7ギガヘルツ（GHz）帯の20バンドを、独自のバンド切の替え機能でカ

と広い。利得は28dB以上となっている。

LTE、WiMAXなど無線通信は、無線通信方式により使用周波数帯が異なる。またLTEなどは、同一通信方式でも、国ごとに使用する周波数帯が異なる。このため、それぞれの周波数帯に応じた特性のPAやフィルターを複数個搭載して対応する方法が一般的だった。

ただ、PA、フィルターの搭載数が多く、小型化が要求されるスマートフォンなどでは大きな課題となっている。